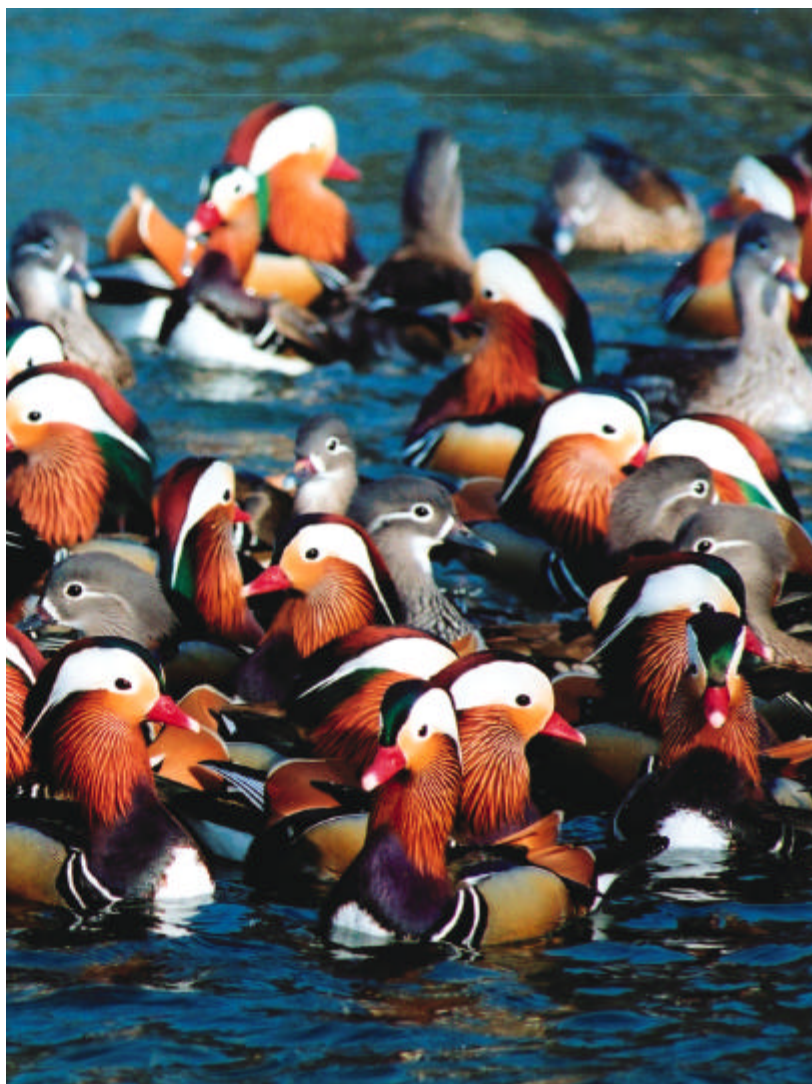


オシドリ

間近で見る美しい姿に思わず歓声を上げる来観者たち。ときには10ヵ先まで近づいてくることもあります。昨シーズンの来観者数は1万7500人を超え、オシドリ観察は秋から春先にかけて人気のスポットになっています。観察小屋は、JR伯備線根雨駅から徒歩5分の日野川沿いにあります。



秋から春先まで多くのオシドリが飛来する

オシドリ観察小屋

- 場所 鳥取県日野町根雨（日野川沿い）
JR根雨駅から徒歩5分
国道181号線近く
- 期間 11月～3月（年中無休）
- 時間 朝方～夕方
- 問合せ 日野町役場企画振興課
電話 0859-72-0332

オシドリに会える観察小屋
JR根雨駅から徒歩5分

水辺で赤、オレンジ、紫、緑の鮮やかなオシドリたちが、すごい、こんなに近くで見れて感動。思わず歓声を上げてしまつて来観者。カメラマンは、シャッターチャンス待ち続け、その一瞬に集中しシャッターを切り続ける姿があります。

警戒心の強いオシドリを間近で見ることができ「オシドリ観察小屋」は、JR伯備線根雨駅から徒歩5分の距離にある日野川沿いにあります。飛来数とともにシーズン中に訪れる人も年々増え、昨



観察小屋にはスコープなども用意され対岸のオシドリも見れる



オシドリを見に多く人が訪れる観察小屋



頭本直崇さん(下黒坂) 左
 稲田修士さん(根雨) 中
 田貝心平さん(津地) 右

頭本 飛び立つ姿は感動。朝の観察が特におすすめです。

稲田 友だちに絵八ガキを見せて自慢しました。

田貝 色鮮やかで美しく、心がいやされます。



スコープをのぞくと
 佐々木悠花さん(舟場)

今回で2回目です。スコープをのぞいて見たら、オレンジ、緑、赤などすてきな色の羽をしていました。カラフルな服を着ているようできれいです。また見に来たいと思います。



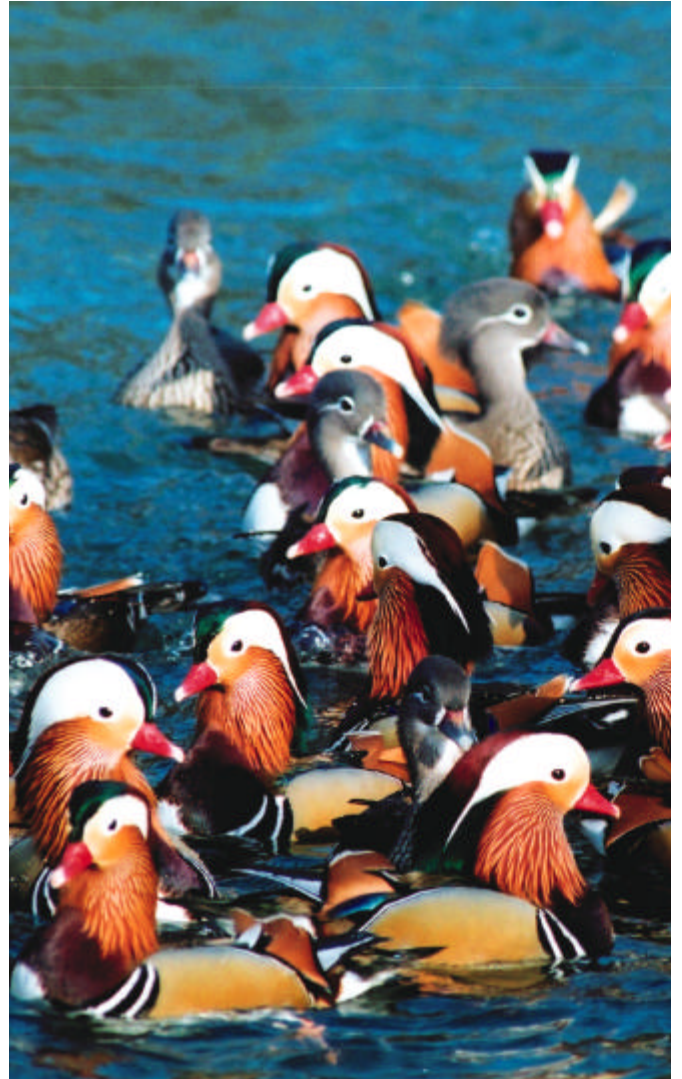
シャッターチャンス
 池田一男さん(岡山県倉敷市)

10年前からシーズンになると毎週のように来て撮影しています。美しく様々な表情を見せてくれるオシドリは、何回シャッターを切っても飽きません。清流の雰囲気も最高です。



ドングリ持参で見学に
 藤本文正さん・政江さん(倉吉市)

昨年から1度来て見たいと思っていました。オシドリは美しいとしか表現できません。また、ていねいに案内してくれる人にも感激です。今日はドングリを持ってきました。



シーズンはオシドリが921羽、来観者は1万7545人を数えました。
 北海道から沖縄まで全国各地から訪れるその人数は、町民のおそよ4倍にあたります。オシドリが飛来する秋から春にかけて人気のスポットになっています。
 飛来する11月からオープン北帰行を始める3月末まで
 観察小屋は、JR伯備線の鉄橋下にあり、広さは約16平

方メートルで1度に20人程度が入れます。

オシドリを支援する「オシドリグループ」が古い木材を利用して建てました。

平成12年にまちの補助を受けて建て直す予定でしたが、その年10月に発生した鳥取県西部地震の影響で着工が延期1か月後から始まるシーズンに何とか間に合わせようと、ボランティア有志と力を合わせ、自分たちで改修しました。

小屋の中には、直径20センチほどのぞき窓が開けてあり、そこからオシドリが見れます。スコープ(望遠鏡)なども用意してあるので対岸にいるオシドリを見ることができ、ときには10メートル近くまで寄って来ることもあり、人々を喜ばせます。

また、小屋の中には、ここで撮影したカメラマンたちが送ってきたオシドリの写真、広がる交流の品々、オシドリに関する資料などが飾ってあります。

観察シーズンは、飛来する11月から北帰行する3月末まで。特に条件が良いとされるのは、曇や雨、雪など天候が悪いときで、時間帯は早朝が夕方がいいようです。